

山本一清 （一八七〇—一九五九） 天文學者、理學博士。明治二十一年五月二十七日滋賀縣生れ、昭和二十四年一月十六日歿（八八九—九五九）。大正二年京都帝國大學理科大學卒。九年東亞天文學會を興し、雜誌「天界」を創刊。十一年より歐米で研究。歸國後京都帝大教授、昭和四年以降各地の天文臺長を兼任。また天體知識の普及に努め、啓蒙書多數を著はした。著書「コプティン」相對原理（内題「コプティン」相對原理）再版・大正十一年九月十五日警醒社書店）、「宇宙開拓史講話」（改版・大正十四年九月十日警醒社書店）、「標準天文讀本」（昭和二年二月二十八日京都・みづびし書店發賣）、「趣味の天文」（昭和二年十一月）白文化生活研究會「家庭科學大系」、「地球と月」（論、昭和十二年二月）二十日恒星社・厚生閣「圖説天文講座」、コプティン「コプティン」相對原理（昭和十六年三月二十日新潮社「新傳記叢書」）、コプティン「子供の天文學」（昭和十七年八月五日恒星社）、コプティン「コプティン」評傳（昭和十八年九月十日恒星社）、「海王星」發見と其の後の知識（昭和二十一年二月二十日恒星社厚生閣）等。

